



4年
越川 咲希さん

※力を合わせて庭そうじをしてる絵です。葉っぱの色を工夫してぬりました。



『落ち葉そうじ』



4年
関野 帆波さん

※たいへんだった所は、人の顔でした。でもコスモスはきれいに色をぬれました。



『コスモスと親友と私』

あつまれみんなの力作



5年
木原 詩織さん

※上手に書けるように何時間も練習しました。点やはねに気をつけて書きました。



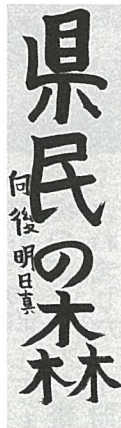
5年
石川 絵理さん

※校内書き初め展で金賞をとりました。一番おもしろかったのは「天」のはらいでした。



6年
向後明日真さん

※「県民の森」の民のはねるところが難しかったです。がんばって書きました。



6年
大木沙耶香さん

※わたしは、絵が大好きです。このポスターでは色の組み合わせを工夫しました。



『防火ポスター』

ひかり俳壇



布施 和代 (二又)
初空にひかり満ちくる無音界
元旦の初酉の空は将しく無音界であった。
「年明くや無音世界の窓白む」もある。

川島 孝夫 (二又)
故郷に風揚げ絶えし初みそら
風揚げ、石けり、羽根突きなど今では殆んど見かけなくなった。寂しい限りである。

越川 福子 (宮川)
納得の就職成りしと初電話
初電話は嬉しく楽しいものである。納得の就職であったので尚更である。

土屋 義昭 (虫生)
初空へ穏やかに木々深呼吸
初御空茶の間に望む機の雄姿

越川せつ子 (篠本)
初御空茶の間に望む機の雄姿

川島 重一 (尾垂)
去年の星浴みつ明けたる初御空
短評
椎名しげる

評者吟
初明り飛機燦然と現われり